

【学校教育目標】

心豊かでたくましく生きる生徒の育成

【本校の課題】

- ・中2男子は握力、反復横とび、20mシャトルラン、50m走で、
中2女子は握力、立ち幅跳び以外で県・全国平均を下回っている。
- ・中3女子反復横跳び、立ち幅跳びで県・全国平均を下回っている。
- ・さらに、中2は男女とも20mシャトルランで県・全国平均を大きく下回っている。

【現状】

- ・生徒数の急激な増加により活動場所の確保が難しく、運動場の使用を時間制にする等、身体を動かす機会が減少している。
- ・1日の運動・スポーツの実施時間が、1週間のうち男子は5日間、女子は6日間において全国平均を上回っており、運動部活動にも顧問の指導のもと熱心に取り組んでいる。
- ・一方、部活動に所属していない生徒の増加やスマホの急速な普及等によって、屋外で運動する機会が減少している。運動の必要性を認識し、習慣化に課題があるため、学校全体として家庭とも連携を図りながら運動習慣確立の手立てを行っていく必要がある。

保健体育の授業での取り組み

- ・新体力テストの結果から、毎授業の中で不足している体力についての補強運動を取り入れている。
- ・授業で培った資質能力を活かし、体育活動を通して心身の健全な発達と健康や運動に対する意欲や関心を高める。
- ・授業の中で活動時間を多く設けることで色々な運動に取り組むことができるようにする。

運動部活動や家庭との連絡

- ・新体力テストの結果を各顧問と共有し、練習内容に生かすようにする。
- ・自分が不足している体力要素について、向上させるためのトレーニング計画と実践を長期休業中の課題として取り組ませる。
- ・食事や睡眠等の生活習慣を整えるために、生活リズムチェックシートを活用して、日常生活における保護者の協力してもらう。

【目標】

- ・「運動する『時間』『空間』『仲間』」を生み出すことにより、運動機会を確保する。
昼休みに運動場を開放し、積極的に運動をするよう促す。
- ・生徒増加によって活動する場の確保が難しい中で、参加した生徒が充実感を得られるように、部活動の充実を図る。
- ・家庭・地域との連携による運動習慣・生活習慣改善の取組を推進する。